

2025年版高等学校男子適用規則

全国高等学校体育連盟体操部
日本体操協会審判委員会体操競技男子審判本部

次に示すもの以外は、2025年版採点規則（日本体操協会発行）を適用する。

1. 技の認定と難度の設定について

(1) ゆかにおいて、2回宙返り技を演技内に実施しなければならない。

⇒実施しない（認定されない）場合はND 0.3

(2) 難度の設定

つり輪 ・ 屈腕ほん転逆上がり倒立（屈腕後方車輪倒立）（2秒）：C難度（グループⅠ）
・ 屈腕後ろ振り上がり倒立（屈腕前方車輪倒立）（2秒）：C難度（グループⅠ）

※伸腕で実施する技と同一枠となる。

※肘をまげたことによる減点およびその他の減点は規則通り行う。

つり輪, 平行棒, 鉄棒 ・ 前方または後方かかえ込み宙返り下り：A難度（グループⅣ）

2. つり輪における加点について

グループⅡおよびⅢのE難度以上の技に対して、1技につき0.1の加点をDスコアに行う。

※ただし、不認定となった技は加点の対象としない。

3. 各種目の競技前ワンタッチアップについて

(1) 30秒アップ ⇒ ゆか, あん馬, つり輪, 鉄棒

(2) 50秒アップ ⇒ 平行棒

(3) 2本アップ ⇒ 跳馬

4. 禁止技について

なし（難度表に記されているジュニアルールにおける禁止技を示す●印は適用しない。）

5. 補助者について

つり輪、鉄棒に加え、跳馬、平行棒においても1名の補助者をつけることができる。